

研究主題

豊かに生きる力の育成

～自分を知り「なりたい自分」に近づくキャリア教育の実践～

1 単元名 「I want to be a....」

2 単元の目標

互いの夢を知り、卒業してからも互いに応援し支え合うために、将来就きたい職業について、何がしたいか、どんなことができるかなど、自分の夢を伝えたり、伝え合ったりすることができるようにする。

3 本単元の評価規準とキャリア教育を通して育みたい力（評価規準マトリクス）

高学年の基礎的汎用的能力（夢4）		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
人や社会と関わる力  【人間関係形成・社会形成能力】	<ul style="list-style-type: none"> 相手の立場に立って考え、思いやりをもって行動する力 相手と関わりながらより良いものを創り上げようとする力 			
自分をみつめる力  【自己理解・自己管理能力】	<ul style="list-style-type: none"> 自分の長所短所を理解し、自分らしさを発揮する力 自分と異なる意見も理解しようとし、積極的に交流する力 			
課題をやりぬく力  【課題対応能力】	<ul style="list-style-type: none"> 課題に対して自分に今何ができるのかを考え、計画、実践する力 情報や情報手段を主体的に選択し、活用する力 	①将来就きたい職業について伝える語句や表現の意味や働きを理解している。 ②将来就きたい職業について、したいことやできることを伝える語句や表現を用いて、自分の夢を伝える技能を身に付けている。		
次につなげる力  【キャリアプランニング能力】	<ul style="list-style-type: none"> 学ぶこと働くことの意義を理解する力 将来の夢について考え、実現に向けて設計、行動、改善する力 		①互いの夢を知り、卒業してからも互いに応援し支え合うために、将来就きたい職業について、簡単な語句や基本的な表現を用いて、何がしたいか、どんなことができるかなど、自分の夢を伝えられている。	①互いの夢を知り、卒業してからも互いに応援し支え合うために、将来就きたい職業について、簡単な語句や基本的な表現を用いて、何がしたいか、どんなことができるかなど、自分の夢を伝えようとしている。

※キャリア教育と関連が密接なものは**ゴシック体・太字**

4 部会提案

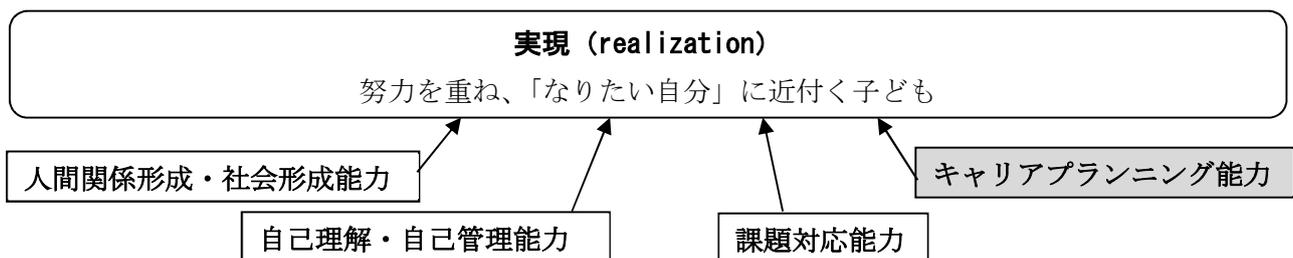
(1) 児童の実態と単元観

本学級の児童は、日々の外国語の授業に真面目に取り組むことができている。その成果はペーパーテストやパフォーマンステストの結果に表れていて、達成率は3学級の中で一番高い。しかし、英語で話すことにおいては課題も見られる。授業中の表現活動では、自信のなさや恥ずかしさから声が小さくなってしまったり、堂々と話すことができなかつたりする場面がある。第6学年になり、英語表現が一段と難しくなってきたことで、この傾向はより顕著となっている。

本単元は、3学期の配当である。卒業を控えている時期であることから、キャリア教育との関連で、自分たちの未来に思いを巡らせ、将来の姿として思い描いた事柄を伝えることを単元のねらいとした。「将来の夢を伝える」という目標を達成するために、単元末では、将来就きたい職業や、その職業に就いたらしたいこと、できることについてスピーチをする活動を設定している。そのために、Lesson6では、職業の語彙とともに、就きたい職業を伝える表現 (I want to be) や、したいことを伝える表現 (I want to) を学習する。

キャリア教育の視点では、「キャリアプランニング能力」を中心に捉えている。本単元を通して、何がしたいか、どんなことができるかなど、自分自身をしっかりと見つめ、将来就きたい職業について伝えることができるようにする。

(2) 高学年の目指す児童像と本単元で重点となる基礎的・汎用的能力



(3) 本単元で目指す児童像を実現するための手だてと関連する夢4

<p>【手だて1】: 自信をもってコミュニケーションをとる (=自分を見つめる) ために</p> <p>○ ワークシートの工夫</p> <p>発表メモには、児童が発信できるようにしたい表現 (I like.... / I can.... / I am good at.... / I want to be.... / I want to....) を記載した。</p> <p>○ 既習事項の振り返り</p> <p>モバイルアプリ「Kahoot!」を活用し、児童が発信できるようにしたい表現 (I like.... / I can.... / I am good at.... / I want to be.... / I want to....) を復習する時間を設定する。</p>	<p>【夢4】</p>  
<p>【手だて2】: 見通し (=「なりたい自分」) をもって活動に取り組むために</p> <p>○ 他教科との連携</p> <p>国語科「今、私は、ぼくは」、総合的な学習の時間「ぼくわたしの未来設計」、図画工作科「願いをつめこんで」など、今の自分を見つめ、将来について考える学習が他教科でも計画されている。学級担任、図工専科と連携し、将来就きたい職業を十分にイメージできた状態で、本単元の学習を開始できるようにする。</p>	<p>【夢4】</p> 

5 指導計画 (全 14 時間)

		学習内容	主な学習活動	◆指導上の留意点	【評価規準】 基礎的・汎用的能力
学習課題をつかむ	1	今の自分の力でできること、できないことを確認し、JUMP に向けて見直しをもつ。	○①～④の4人の将来の夢を聞いて、概要を捉える。 ○将来就きたい職業や伝えたいことを考えて、ワークシートに記入する。	◆Task2 のスクリプトには未習事項が含まれるが、この段階ではそれらには触れない。 ◆ <u>場合によっては、他教科で使用したワークシートを振り返らせる。</u>	【主①】  
高める	2	5年生で学んだ職業の英語での言い方を思い出し、第三者の職業や様子を伝える語句や表現に気付き、理解して使う。	○Sound Chant ○Panorama、Spotlight ○活動 ・Panorama を見ながら職業名を聞き、聞き取った職業のイラストにタッチする。 ・Panorama を見ながら人物当てクイズに答える。 ○Story	◆タッチングゲームは、何度も繰り返す。3回目以降は、アルファベット順ではなく、ランダムに行う。 ◆人物当てクイズでは、職業名をアウトプットさせることが目的なので、児童は Baker. と単語だけで答えても良い。	【知・技①】 【主①】  
	3 4	将来就きたい職業を伝える語句や表現に気付き、理解して使う。	○Word Chant ○Panorama、Spotlight ○活動 ・音声を聞いて、「小学生のつきたい職業ベスト5」に入る職業を4線に書く。 ・友達に就きたい職業を尋ねて、「クラスの職業ランキング」を作る。 ○Enjoy Reading	◆十分に時間を確保し、なるべくクラスの全員と交流させる。 ◆活動後には、代表児童数名に発表させる。このとき、発表児童以外の児童と指導者で、 <u>What do you want to be?</u> と聞くようにする。	【知・技①】 【主①】   
	5 6	将来就きたい職業に続けて、その理由、その職業について伝えたいことを伝える語句や表現に気付き、理解して使う。	○Word Chant ○Panorama、Spotlight ○活動 ・将来どんな職業に就きたいかが話されるのを聞いて、イラストを線で結ぶ。 ・ペアやグループで、将来どんな職業に就きたいか、その職業に就いたらしたいことを添えて伝え合う。 ○Enjoy Listening	◆活動に入る前に、 <u>Talk to Friends</u> を聞かせ、話題を示す。 ◆活動後には、代表児童数名に発表させる。必要に応じてフィードバックを与える（ <u>シェアリング</u> ）。	【知・技②】 【思・判・表①】 【主①】   

深める	7 8 (本時) 9 10 11	<p>将来就きたい職業、その理由、その職業に就いたらどんなことをしたいか、できるかを発表するための準備をする。</p>	<p>○将来就きたい職業、その理由、その職業に就いたらどんなことをしたいか、できるかを考えて、発表メモを作成する。</p> <p>○英語の表現をおさらいする。</p> <p>○メモを頼りに、将来就きたい職業と、その理由を伝える。</p> <p>○本番に向けて、発表資料を作成する。</p> <p>○内容や伝え方を改善する。</p>	<p>◆<u>発表メモには、児童が発信できるようにしたい表現を記載する。</u></p> <ul style="list-style-type: none"> • I like.... • I can.... • I am good at.... • I want to be.... • I want to.... <p>◆<u>交流させる前に、モバイルアプリ「Kahoot!」を活用し、児童が発信できるようにしたい表現を復習する時間を設定する。</u></p>	<p>【思・判・表①】</p> <p>【主①】</p>    
	12 13 14	<p>将来就きたい職業、その理由、その職業に就いたらどんなことをしたいか、できるかを発表する。</p>	<p>○クラスみんなに、将来就きたい職業と、その理由を紹介する。</p>	<p>◆Chromebook のカメラ機能で自分の発表を記録させ、伝えたい人にいつでも見せることができるようにする。</p> <p>◆<u>学習前の自分と比較させ、成長できたところや、次への課題について振り返らせる。</u></p>	<p>【思・判・表①】</p> <p>【主①】</p>  

※波線はキャリア教育の視点

6 本時の学習 (14 時間扱いの 8 時間目)

- (1) 本時の目標
将来就きたい職業と、その理由を伝え合うことができる。
- (2) キャリア教育の重点
◎将来就きたい職業と、その理由を伝え合う活動を通して、夢の実現に向けて設計、行動、改善する力を育む。【キャリアプランニング能力】
- (3) 展開

段階	学習活動	教材, 教具, 学習形態	指導・支援 (○) 評価 (●)
導入 5分	1 挨拶をする。 2 Small Talk を聞き、本時のめあてを知る。	【全体】 【全体】	○将来就きたい職業とその理由について、ALT とのやり取りを見せる。 
将来つきたい職業と、その理由を伝え合おう。			
展開 3 5分	3 チャンツに合わせて声に出す。 ・ I want to be a dancer. I can dance well. ・ I want to be a singer. I can sing well. ・ I want to be a teacher. I like children. ・ I want to be a scientist. I like science. ・ I want to be a writer. I like reading and writing.	【全体】	○「I like reading and writing.」の部分が非常に難しい。様子を見ながら、何度か繰り返す。
まとめ 5分	4 モバイルアプリ「Kahoot!」を開き、クイズに答える。	【個人】 ・ Chromebook	○正答率が低い問題については、その都度、英語表現を確認する。
	5 インタビューゲームをする。 ・ A : What do you want to be? B : I want to be a soccer player. A : Why? B : (Because) I like soccer. I can run fast. ・ A : What do you want to be? B : I want to be a kindergarten teacher. A : Why? B : (Because) I like small children. I am good at playing the piano. ・ A : What do you want to be? B : I want to be a baker. A : Why? B : (Because) I like bread. I want to make original bread.	【ペア】 ・ ワークシート	○活動後には、代表児童数名に発表させる。必要に応じてフィードバックを与える (シェアリング)。  ●互いの夢を知り、卒業してからも互いに応援し支え合うために、将来就きたい職業について、何がしたいか、どんなことができるかなど、自分の夢を伝えている。【思・判・表①】
	6 振り返りシートを記入する。 ・理由を2つ考えて、伝えることができました。 ・友達のなりたい理由をしっかりと理解することができました。 ・本番の発表では、残りの表現 (I am good at.... / I want to....) も使っていきたい。	【個人】 ・ 振り返りシート	○「できたこと」「むずかしかったこと」「工夫したこと」「次の目標」の視点で書かせる。 
	7 挨拶をする。	【全体】	

※波線はキャリア教育の視点

7 板書計画

めあて

将来つきたい職業と、その理由を伝え合おう。



【インタビューゲーム】

A : What do you want to be?

B : I want to be a soccer player.

A : Why?

B : (Because)

I like soccer.

I can run fast.

I am good at doing soccer juggling.

I want to play in the World Cup.

【プロジェクター】

①チャンツ 「What do you want to be?」

②モバイルアプリ 「Kahoot!」